

様式1(主な取組)

活動指標名					R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B						
実績値	整備に向けた調査の実施				調査実施	-	100.0%	9,104	順調	令和2年度は、財源の検討、都市計画法等の法規制への対応協議、複合機能を含むエリア全体の開発可能性等の検討を実施した。		
	基本計画 策定 課題整理	基本計画 策定 課題整理	複合機能 の導入可 能性検討	財源・事 業方式等 の検討								
活動指標名					R2年度							進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
活動指標名					R2年度							財源の検討、都市計画法等の法規制への対応協議、複合機能を含むエリア全体の開発可能性等の検討等を実施した。 検討に当たっては、県民アンケート、民間サウンディング等を行い有識者による検討を行い一定の整備条件、コンセプト等の方向性を提言書として取りまとめた。
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和2年度 of 取組改善案						反映状況						
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の調査内容を踏まえ、事業方式、財源、スケジュール等について、庁内検討を実施する。 整備計画地における「都市計画法」や「都市公園法」の法規制への対応について、引き続き関係者と調整を行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 事業方式については、過年度検討を踏まえPFI事業として成立するのか、一定の条件を設定した上で、民間事業者へのサウンディング調査を実施している。 財源については、内閣府等への事業説明などを実施した。 都市計画法等の規制への対応については、県都市公園課、那覇市と協議を実施した。 						



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ サウンディング調査において、民間事業者の参入意向を把握したところ、現在の整備条件では、県への財政貢献に多くを求めることは難しい状況にある。
- ・ スタジアム整備計画地である奥武山公園は、「都市計画法」や「都市公園法」の制限があり、一定の方向性を協議したが整備に向け法規制への対応を継続して行う必要がある。

○外部環境の変化

- ・ FC琉球は2018シーズンJ3で優勝し、2019シーズンはJ2昇格に加え、J1への参加資格となるライセンスを取得し、県民のサッカーに対する期待が高まっている。
- ・ 平成30年12月18日付けで県サッカー協会を中心としたサッカー関係団体、令和2年10月27日付け県サッカー協会よりJリーグ規格スタジアム整備の早期推進の要請があった。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 整備計画地の収益性を向上させるための条件整理には長期的な検討が必要である。一方、ホームクラブがJ1クラブに昇格するためには、早期のスタジアム整備が求められており、諸条件を整理した上で、整備方針を検討する必要がある。
- ・ スタジアム整備計画地である奥武山公園は、「都市計画法」や「都市公園法」の制限があり、一定の方向性を協議したが整備に向け法規制への対応を継続して行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 基本計画等で算定した概算事業費、需要予測、運営収支等の検証等を行う。
- ・ 整備計画地における「都市計画法」や「都市公園法」の法規制への対応について、引き続き関係者と調整を行い、今後の取組内容の整理を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ウ	国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備	施策	① 国際交流拠点形成に向けた受入機能の強化
			施策の小項目名	○交流拠点施設等の整備
主な取組	大型MICE施設の整備			
対応する主な課題	②国内外の各地域において、MICE誘致競争が年々拡大している中、既存施設では収容が不可能な1万人規模の会議開催案件も発生しており、国際的な交流拠点施設の整備が必要である。加えて、案内板の多言語表示化をはじめとした外国人の受入環境整備にも取り組む必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。						
実施主体		県、事業者				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】				
		設計・工事・開業準備に向けた取組		新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定		

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	マリンタウンMICEエリア形成事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施した。	
県単等	委託	—	—	—	—	37,755	35,341	県単等	OR3年度： 引き続き、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。	
予算事業名	観光地形成促進地域推進事業、都市型交流拠点形成事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施した。	
県単等	委託	—	—	—	5,765	5,678	2,873	県単等	OR3年度： 引き続き、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施する。	

様式1(主な取組)

予算事業名 大型MICE受入環境整備事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画				
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： 落札決定の解消に係る事業者への和解に要する経費を支出し、R2年度で事業終了した。(後継事業：マリンタウンMICEエリア形成事業) OR3年度：				
県単等	委託	7,040,437	68,982	14,621	26,323	91,524	—						
活動指標名	新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				134,957	順調	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施した。
活動指標名					R2年度			実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度									
活動指標名					R2年度			実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度									

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和2年度の取組改善案	反映状況
新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する。	・新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施した。



3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
○内部要因 ・今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、基本計画等検討業務を継続する必要がある。	○外部環境の変化 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響 (MICEや不動産マーケットの動向等) を見極める必要がある。
(2)改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する必要がある。	



4 取組の改善案 (Action)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ウ	国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備	施策	① 国際交流拠点形成に向けた受入機能の強化
			施策の小項目名	○交流拠点施設等の整備
主な取組	大型MICE施設周辺の受入環境の整備			
対応する主な課題	②国内外の各地域において、MICE誘致競争が年々拡大している中、既存施設では収容が不可能な1万人規模の会議開催案件も発生しており、国際的な交流拠点施設の整備が必要である。加えて、案内板の多言語表示化をはじめとした外国人の受入環境整備にも取り組む必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
大型MICE施設の整備にあたり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地に取り組む。						
実施主体		県、市町村				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】				
		マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	マリンタウンMICEエリア形成事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施した。	
県単等	委託	—	—	—	—	37,755	35,341	県単等	OR3年度： 引き続き、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。	
予算事業名	観光地形成促進地域推進事業、都市型交流拠点形成事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施した。	
県単等	委託	—	—	6,199	5,765	5,678	2,873	県単等	OR3年度： 引き続き、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施する。	

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和2年度の取組改善案	反映状況
・新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する。	・新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施した。



3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
○内部要因 ・今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、基本計画等検討業務を継続する必要がある。	○外部環境の変化 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響 (MICEや不動産マーケットの動向等) を見極める必要がある。
(2)改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する必要がある。	



4 取組の改善案 (Action)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。
